

令和4年度 学校評価（アンケートのまとめ）

1 評価結果の概要

（生徒アンケート）

- ・学習内容や授業内容など、児童・生徒がやりたい活動が幅広かった。

（保護者アンケート）

- ・学校生活や授業について肯定的な評価が多数あった。一方で指導法について改善を求める意見もあった。

（外部アンケート）

- ・ほとんどの事業所から放課後等デイサービス連絡会が学校との連携の上で役立っているとの回答があった。

（教職員アンケート）

- ・授業力の向上について、昨年度より意識が向上しているが、タブレット端末の利用方法が複雑で利用しにくいという意見があった。
- ・働き方改革について取組への理解はあるが、負担感は変わらないという意見があった。

2 評価結果の分析・考察

（生徒アンケート）

- ・生徒主体による「語ろう会」をさらに深めていき、授業についての意見等を聞くとともに、教科担当者が個別の指導計画、評価について生徒に説明していくことが必要である。

（保護者アンケート）

- ・児童・生徒に応じた指導方法を研究授業などして学び改善していく。
- ・指導方法や対応についても個別面談や保護者会などで相談や説明できる機会を設けていく。

（外部アンケート）

- ・引き続き、連絡会では学校見学に時間を使い、外部団体等が普段の学校の様子が分かるようにする。

（教職員アンケート）

- ・ICTの活用を含め、研究・研修を充実させ、全教員の授業の向上が図れるようにする。
- ・各学部、分掌部で業務の精選を行い、質を落とさず業務を削減できるよう組織的に進めていく。

3 学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・児童、生徒、保護者の意見を傾聴し、指導方針を共通理解した指導の展開
- ・定時退庁日の設定。他19時最終退庁時間の継続

（2）学習指導

- ・6、7年次の資質向上研修を継続させ、中堅教員が自覚をもって授業力向上に向けて取組めるようにする。
- ・デジタル機器を効果的に活用する指導内容・方法の研究の充実

（3）生活指導

- ・「東京都立中野特別支援学校教職員倫理要綱」及び別紙「行動指針」の確実な履行

（4）進路指導

- ・自立と社会参加を目指した小学部段階からのキャリア教育の推進

（5）健康・安全

- ・学校と地域の関係機関との連携による、災害時等の対応を充実させる。

4 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数 11人

（2）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
11	0	0	0	0	0	0